

えちご妙高会



妙高市指定文化財 乙吉の大ケヤキ

【第12回】 総会・懇親会

2016年7月9日(土)
渋谷エクセルホテル東急 6階
プラネッツルーム

第12回総会・懇親会開催実行委員会

木造注文住宅 一般建築 設計施工 東京都知事許可(般一-23)第 136612号



株式会社
笠井工務店
笠井建設事務所

代表取締役 **笠井 忠**
えちご妙高会 副会長

〒115-0056 東京都北区西が丘2丁目5番21号
電話 03-3900-8811 FAX 03-3900-1509
携帯 090-3238-7226 Eメール tadakasa@cream.plala.or.jp



地域の人と文化が交わる場



会長 相羽 正
(えちご妙高会 副幹事長)

(本社) 東京都東村山市本町2-22-11 ☎ 0120-145-333



永く住み続けられる家
相羽建設株式会社

代表者挨拶

えちご妙高会 会長 豊田 寛



えちご妙高会は誕生して12回目の総会・懇親会を迎えることが出来ました。会員の皆様の年齢や人生の軌跡はそれぞれでも、妙高で過ごしたときのふるさとの思い出はいつまでも残っていると思います。そんな共有体験の語り合いと、それによって生まれる一体感としてえちご妙高会があります。総会・懇親会は一年に一度の皆様との出会いの場です。お互いの無事を確かめつつ、ふるさとの素晴らしさを自慢しあう場でもあります。

昨秋、えちご妙高会の有志20名が妙高市斐太北小学校6年生20名と一緒に妙高市内を巡るバスツアーの機会がありました。児童とペアを組み、対話をしながら旧妙高高原町、旧妙高村、旧新井市が持っている自然や歴史文化や食べ物、生業を一泊二日の日程で楽しみました。児童達は妙高市の誕生時にはまだ幼児で、まさに妙高市とともに成長した子ども達でした。私達にも気づきが沢山あり、妙高市は資源が溢れる地域であることを改めて認識させてくれました。風土が人を育て、人が文化を紡ぐ。その風土の根幹には大地がある。それぞれの集落の成り立ちがあり、強みと弱みもある。そして、それぞれが補完しあえる仕組みづくりとその集合体が妙高市という存在。「おまん、知ってっかね。」と、もっと自分のふるさとを自慢してもいいと思います。

本日はえちご妙高会と縁のある大勢の方々にもご参加いただきました。そして、いつでもあたたかく受け入れてくれるふるさと妙高の人々のホスピタリティに感謝しています。

「おまんた、忙しいなか、ずく出してこの会場によくきてくんたね。懇親会ではごっつおもあるので、おまんたの好きなものでんで取ってもらって、はらくちになっくんない。女しょも男しょも、きずけなく食べて飲んで喋って、えちご妙高会を楽しんでくんない。」

皆様、本日はどうもありがとうございました。



(役員会にて・2015年撮影)

妙高市よりお祝いの言葉

妙高市 市長 入村 明



えちご妙高会が発足して12年目を迎えられ、盛大に総会が開催されますことを心からお祝い申し上げます。また、日頃より当市の情報発信や、首都圏からの誘客拡大に多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、我が国は現在、人口減少・少子高齢化という大きな課題に直面しており、国の地方創生施策との連携はもとより、各自治体がそれぞれの特徴を活かし自律的・持続的に対処することが求められています。

当市においては、昨年の北陸新幹線開業や国立公園誕生、さらに道の駅あらいの重点化やロッテグループによる大型国際観光リゾートの整備など、妙高の未来に向けた新たな挑戦が始まっております。その一つとして、今春、妙高の観光振興をはじめ地域活性化を担う妙高版DMO (Destination Management Organization)、妙高観光推進協議会が活動を開始しました。海外の観光先進諸国においては、このDMOが、マーケティングやPRなどのマネジメントを行い、地域の集客促進に貢献しており、当市においても観光事業者だけでなく、農業や商業、交通事業など、様々な事業者が協力して、地域全体で、観光地の魅力を創造し、地域活性化につなげてまいります。

また、スキーのまちとして全国に知られる当市ですが、平成30年には当市を舞台に、16年ぶりとなる冬季国体スキー競技会が開催されます。「スキーの聖地 妙高」を全国に発信する絶好の機会となることから、地域の皆様と連携し、大会を盛り上げてまいりたいと考えております。

これからも、世界に誇ることのできる妙高を目指し、力を注いでまいりますので、何卒、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、貴会の益々のご発展と、皆様のご健勝・ご多幸を祈念するとともに、ふるさと妙高への変わらぬご愛顧をお願い申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



マスターは
新井高校出身
故郷の話で花を
咲かせましょう

味・香りで定評 北欧紅茶



～今までにない味。ノーベル賞晩餐会で供された紅茶として大人気です～

試飲見本を
差し上げます

試飲サンプルをご請求の際、
「えちご妙高会」とお知らせ頂ければ
5種類全品、2回分をお届けします。

メール hokuotea@po.cnet-ta.ne.jp
ファックス/電話 03-5295-3733
郵送 〒101-0044 千代田区鍛冶町 2-11-20
ご来店 かんだデザートへ連絡の上、お申込み
ください。店内試飲もできます。

株式会社 信岡倉

かんだデザート

JR 神田駅東口より徒歩 2 分
営団地下鉄銀座線 3 番出口より徒歩 1 分
【営業時間】 平日 11:00～20:00
土曜日 14:00～20:00 【定休日】 日・祝日



進 行 次 第

司会進行 しもとりきよこ
(敬称略)

第 1 部 総 会 (13:00~13:50)

- | | |
|-----------------|--------|
| ・開会の辞……………副会長 | 長谷川 競子 |
| ・会長挨拶……………会 長 | 豊田 寛 |
| ・ご来賓紹介 | |
| ・ご来賓挨拶………妙高市長 | 入村 明 |
| ……………東京新潟県人会副会長 | 高橋 秀夫 |
| ・活動報告……………副事務局長 | 宮下 忠司 |
| ・閉会の辞……………副会長 | 笠井 忠 |

◆◆◆◆◆ 休 憩 ◆◆◆◆◆

第 2 部 懇親会 (14:00~16:00)

- | | |
|---------------------------|--------|
| ・アトラクション ……チャイナマジック・ダーク史郎 | |
| ・乾 杯……………妙高市議会議長 | 関根 正明 |
| ◆◆◆◆◆ お食事・ご歓談 ◆◆◆◆◆ | |
| ・妙高だより……………妙高市観光商工課 課長 | 早津 之彦 |
| ・NPO法人……………e-myoko 事務局長 | 藤田 恵美子 |
| ・みんなで合唱………妙高市の歌/四季の歌 | 長谷川 競子 |
| ・閉会の辞……………副幹事長 | 相羽 正 |



美味しいクラシックフレンチを 気軽にいかがですか？

◆ホテル仕込みのオリジナルカレーが絶品のお店です◆

気軽なフレンチレストラン
モンタンベール
MONTENVERS
Tel.03(3443)2323 ▶ご予約やお料理のご希望など
お気軽にお問い合わせください

東京都渋谷区恵比寿1-16-29デリス第2ビル 1F
Lunch 11:30~15:00 (L.O.14:30) Dinner 18:00~22:00 (L.O.21:30)
[定休日]日曜日・月曜日の祝日
◎JR山手線・埼京線 恵比寿駅東口 徒歩約5分
◎東京メトロ日比谷線 恵比寿駅1番出口 徒歩約8分



MONTENVERS
RESTAURANT
www.montenvers.jp/

オーナーシェフの伊藤は
妙高でスキーインストラクターの
経験がございます。

■妙高と東京の「間」

えちご妙高会 名誉会長 西脇 与作

歩くしかなかった時代から見れば、妙高と東京の距離は驚くほど短くなった。私が中学生の頃は信越本線に蒸気機関車が走っていて、窓を開けると風向きによって煤が入ってきて白いシャツを汚したものである。それが過去の記憶に収まり、いつの間にか自動車が普及し、高速道路によって車で行き来ができるようになった。さらに、新幹線ができ、東京との距離は確実に縮まった。その上、ITの普及によってどこでも誰とでも通信が可能になり、物理的な面だけでなく情報の面でも距離は消えた。毎日妙高の人と情報を遣り取りし、新鮮なニュースを享受できるようになっている。故郷にいらなくても故郷のことが、東京にいらなくても東京のことがそれぞれ直ぐにわかり合える時代になった。

故郷と東京の物理的な距離が短くなり、歴史や習慣、文化や伝統の自由化が進み、日本の中に陸の孤島はもはやない。だが、妙高と東京の社会的、経済的な距離はどうだろうか。私たちはその距離を「格差」と呼ぶが、それが縮まったとは言い難い。社会経済面での距離がなくなれば、日本には東京も地方もない筈だが、東京と地方の格差が喫緊の課題となっている。

社会と経済の格差ばかりが目立つが、もう一つ故郷と東京の間に存在するものがある。それは心理的な差異。とても人間的な距離で、物理的な距離や社会経済的な格差と違って、人それぞれに違っている。かつてはその差異がステレオタイプ的にはっきりしていて、方言や文化・歴史の違いが県民性などに強く反映され、単純でわかりやすかった。現在そのような違いは見えにくくなってしまったが、依然として個人レベルで差異が存在している。

若い時分、私にもそのような心理的差異があった。それはかつての室生犀星と同じで、彼は故郷に対する自らの心理的な距離を見事に詠ってみせた。

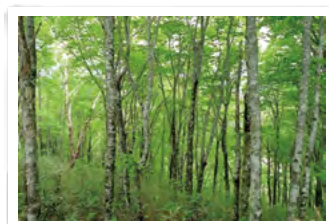
ふるさは遠きにありて思ふもの
そして悲しくたふもの
よしや
うらぶれて異土の乞食(かたる)となるとても
帰るところにあるまじや
ひとり都のゆふぐれに
ふるさとおもひ涙ぐむ
そのころもて
遠きみやこにかへらば
や遠きみやこにかへらばや



『抒情小曲集』の巻頭の詩「小景異情」その二。これは東京から故郷を想う詩ではない。上京した犀星が、志を得ず、郷里金沢との間を往復していた頃、帰郷した折につくった詩。犀星に対して冷ややかな故郷への愛憎を感傷と反抗心をこめて詠っている。

一方、今でもポピュラーな「故郷」は、高野辰之作詞、岡野貞一作曲の文部省唱歌。故郷への懐かしい追憶が詠われ、この歌詞通りなら地方の苦境など起こるはずがないのだが、私たちの現実の故郷は喘いでいる。

兔追いしかの山
小鮒釣りしかの川
夢は今もめぐりて
忘れがたき故郷
如何に在ます父母
恙なしや友がき
雨に風につけても思い出ずる故郷
志をはたして
いつの日にか帰らん
山は青き故郷
水は清き故郷



故郷への想いの両極端が二つの詩に見事に詠われている。実に面妖なことに私たちは時には「故郷」を心から慕い、また別の時には犀星に同感する。私たち自身が故郷に対して揺れ動く心もち、故郷との距離を融通無碍に考えているからなのだろう。物理的な距離、社会経済的な格差とは違って心理的な差異は人によって異なり、同じ人でも時によって異なるもの。人は時には地方と東京の差異を無視し、時には意図的に差異を際立たせる。人とは何とも厄介で、支離滅裂なもの。そんな人を育むのが故郷であり、私は確かに妙高に育まれたのである。

【活動の記録】

2015年総会・懇親会後の主な活動

2015年(平成27年)

- 8月 1日(土) 第9回役員会及び総会反省会(ときわ台・鳥中総本店)
- 9月11日(金) 会員名簿検討会(上野・鳥良)
- 9月24日(木) 妙高市立斐太北小学校との交流学習会(浅草・ニュー魚眼荘)
- 10月18日(日) 第10回役員会(上野・東京新潟県人会館会議室)
- 10月29・30日 妙高市立斐太北小学校ガイドツアーに参加(妙高市内)
- 12月 3日(木) 妙高市立斐太北小学校感謝祭に参加(斐太北小学校)
- 12月13日(日) 第11回役員会及び忘年会
(上野・東京新潟県人会館会議室及び吉池)



2016年(平成28年)

- 1月 4日(月) 妙高市、平成28年新年を祝う市民の集いに参加(妙高市)
- 1月23日(土) 東京新潟県人会新年祝賀会に参加(目白・椿山荘)
- 2月27日(土) 第12回役員会(上野・東京新潟県人会館会議室)
- 2月28日(日) 葛飾区新潟県人会新年会参加(青砥・シンフォニーホール)
- 3月26日(土) 第13回役員会(上野・東京新潟県人会館会議室)
- 4月 9日(土) 若手会員からの総会・懇親会開催についての助言(御徒町・吉池)
- 4月14日(木) 第1回役員会(上野・東京新潟県人会館会議室)
- 4月18日(月) 総会・懇親会の事前準備打合せ(高田馬場・ルノアール)
- 4月21日(木) 総会・懇親会の事前準備打合せ(赤羽・梅ノ木)
- 4月23日(土) 東京新潟県人会芸能大会に参加(上野・東天紅)
- 5月 9日(月) 第2回役員会(上野・東京新潟県人会館会議室)
- 5月15日(日) 総会案内発送(上野・東京新潟県人会館会議室)
- 5月15日(日) 妙高市艸原祭に参加(妙高市・池の平)
- 6月 4日(土) 総会・懇親会後のプログラム編集会議(上野・鳥良)
- 6月26日(日) 第3回役員会(上野・東京新潟県人会館会議室)



Sinto 新東産業株式会社

代表取締役 小出修一

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-12-19 東建インターナショナルビル3F

ホームページ <http://www.sinto-sangyo.co.jp>

TEL 03-3400-4141 FAX 03-3400-9617

支社・支店 柏崎 上越 横浜 千葉 埼玉



【新役員のご挨拶】

副幹事長
本田 弘子
出身 妙高市関山



数年前までは、妙高会の幹事一員として大変お世話になっておりました。その後、しばらく妙高会に参加できなくご無沙汰してしまいました。昨年秋、えちご妙高会と妙高市斐太北小学校のガイドツアーに参加させていただき、それが縁で再びえちご妙高会役員の一員に加えていただくことになりました。少しでも役員の皆様方のお手伝いができ、お力になればと思っております。出戻りですが、よろしくお願いいたします。

副幹事長
相羽 正
出身 妙高市大貝



私は、旧新井市大貝で1945年10月生を受け東京に憧れ16歳で上京しました。大工職人となり25歳で相羽建設(株)を創業し、5年前(65歳)で娘婿に事業承継しました。現在は有意義な人生を満喫して楽しんでおります。年齢が高むと共に故郷の恋しい思いが馳、近年足を運ぶ機会も多くなっており、えちご妙高会のお役を引き受けさせて戴きました。先輩役員のお世話役程度のお手伝いをさせて戴きたいと思っており、よろしくお願いいたします。

えちご妙高会 役員等一覧

(2016年7月現在)

名誉顧問	入村 明 (妙高市長)
顧問	関根 正明 (妙高市議会議員)
顧問	金子 重雄
名誉会長	西脇 与作
相談役	酒井 浄秀
相談役	中村 一彦
相談役	山崎 和子

【執行役員】

会長	豊田 寛
副会長	笠井 忠
副会長	長谷川 競子
事務局長	尾嶋 光教
副事務局長	宮下 忠司
幹事長	杉野 文雄
副幹事長	相羽 正 (新任)
副幹事長	本田 弘子 (新任)
会計監査	吉越 昌治
会計監査	影山 律子

【幹事グループ】(順不同)

幹事	相浦 俊雄
幹事	秋山 陽子
幹事	飯塚 敏郎
幹事	大竹 由美子
幹事	大橋 扶久子
幹事	岡安 とし子
幹事	小島 正徳
幹事	小林 周平
幹事	酒井 邦彦
幹事	霜鳥 昌弘
幹事	戸澤 末子

ふるさと妙高の 情報満載！

年間購読料

4,320円^(税込)

お申し込みは上越タイムス社へ

☎ 0120-17-4243

FAX 025-525-0061



赤倉さんほてる
赤倉セントラルホテル
赤倉ホテル
お宿ふるや
香嶽楼
ホテルタケダ
高橋旅館ゆきつばき
山里の湯 香風館
陶芸の宿 エペレ

妙高高原温泉郷旅館連合会
新潟女将の会 妙高支部

女将の宿



問い合わせ・連絡先 妙高市観光協会 ☎ 0255-86-3911

みんなで合唱

妙高市の歌「めぐる季節は」

作詞・作曲 荒木とよひさ

生まれたばかりの 朝の光を
手のひらにそっと のせてごらんよ
生きていることが こんなに眩しく
小さな生命が 輝いているよ
めぐる季節はきっと あしたの贈りもの
うけつぐこの生命は 美しいから
うけつぐこの妙高は 美しいから

生まれたばかりの 風の言葉を
愛するだれかと 聴いてごらんよ
見つめる瞳が こんなに優しく
ふれ合う心が ときめいてくるよ
めぐる季節はきっと 未来の贈りもの
うけつぐこの心は 美しいから
うけつぐこの妙高は 美しいから

ラララ…

ラララ…

めぐる季節はきっと あしたの贈りもの
うけつぐこの生命は 美しいから
うけつぐこの妙高は 美しいから

四季の歌

作詞・作曲 荒木とよひさ

1. 春を愛する人は 心清き人
すみれの 花のような
僕の友だち
2. 夏を愛する人は 心強き人
岩をくだく 波のような
僕の父親
3. 秋を愛する人は 心深き人
愛を語る ハイネのような
僕の恋人
4. 冬を愛する人は 心広き人
根雪をとかす 大地のような
僕の母親
5. 春夏秋冬愛して 僕らは生きている
太陽の光浴びて 明日の世界へ

